



発行 文化財愛護
シンボルマーク
平成 17 年 8 月 20 日
相模原市文化財調査・普及員
広報グループ

文化財調査・普及員は、市民と行政のパートナーシップに基づき発足したボランティアで、文化財パトロールや、文化財関係事業に参加しています。通信誌のタイトル「さねさし」とは、相模国の枕詞です。

身近な石造物を守ろう！～文化財パトロール～

文化財パトロールは、貴重な文化財の保存を目的に、5地区の地域班や個人により行われ、破損などが見受けられた際に情報が寄せられています。最近では、淵野辺本町日枝神社の狛犬の破損に関する報告があり、教育委員会では管理者から破損状況を聞き取りました。欠損部分は氏子総代の方々が保存しており、修復の予定です。



欠損した淵野辺本町日枝神社の狛犬

市民が選んだ貴重な文化財！ ～文化財マップ発表会～

平成17年3月12日に各地域班が行った文化財パトロールやフィールドワークの成果を披露する文化財マップ発表会を開催しました。発表会では、文化財マップや文化財の解説・現状が説明され、市民の視点で見た保存をしていきたい文化財などが発表されました。現在、この発表会で紹介された「大島のやつぼ」などを市の登録文化財候補として調査中です。



文化財マップ発表会のようす

遺跡見学会や発掘調査に参加！

発掘調査が行われた田名向原遺跡、勝坂遺跡の遺跡見学会などにおいて、受付や見学者の誘導を行うスタッフとして活躍しました。また、発掘調査の講習会を経て、市民調査員として発掘調査に参加したり、古民家園事業などにもスタッフとして参加しています。



田名向原遺跡での受付

今後の活動について

今年度は地域班に加え、分野別班による活動も開始しました。また、文化財調査・普及員の企画・運営による文化財普及事業の開催や文化財のガイド説明なども行っていく予定です。

○津久井の兵どもに思いを馳せて ～深緑の津久井城址 北部班～

標高375mの津久井城は鎌倉時代に津久井為行の築城と伝えられ、戦国時代、小田原北条氏の家臣内藤氏によって修復され、甲斐武田氏に備えました。小田原合戦で徳川氏に攻められ落城するまで堅固な山城として幾多の戦乱を経た関東山城における名城のひとつであると伝えられる津久井城址を、6月4日（土）雨上がりの一日、北部班6名で頂上を目指しました。

津久井湖側登山口から、幕末の代官で砲術家としても有名な江川英龍植林の江川ひのき林を抜け、涸れたことのないという宝ヶ池、飯縄神社を経て、深い空掘り跡を眼下に、太鼓曲輪、引き橋を渡り、1時間ほどで本城跡へ到着しました。木々を渡る涼風に乗って「ホーホケキョ」と鶯の澄んだ鳴き声に、滴る汗も吹き飛んで日頃の喧騒をしばし忘れた一時でした。帰路は、牢屋跡を通り牢屋の沢を流れる水音に耳を澄まし、根小屋を抜けて功雲寺まで、全行程3時間ほどでした。



山頂にある津久井古城碑

私たちは軽装で息を切らして辿り着いたのに、いざ合戦となると鎧兜を身に纏い、力強く駆け登っていった戦国の侍たちに思いを馳せていると、今まさに甲冑姿の武将が目の前を走り抜けたような思いがしました。

～いにしへの兵どもの盛衰も 夢まぼろしか津久井城址～

(記・西田)

○ぐるっと淵野辺南部文化財ガイド ～文化財めぐり案内記 東部班～

5月はじめ文化財保護室を經由して、文化財めぐりの案内依頼を受けた。さっそく昨年度の活動で完成した地域の文化財マップを活用、依頼者側のニーズを事前に確認した上で「ぐるっと淵野辺文化財散歩・南部編」を再編し、ガイドを行いました。

日時 平成17年6月18日（土）午前9時30分～正午
 依頼者側 川崎市の企業OBグループ 懐西会
 参加者 懐西会12名、案内者3名（市橋、宮下、太田）
 コース 約5キロ 矢部駅→村富神社（文化財・獅子頭）
 →八王子道→鹿沼公園（でいらぼっち伝承地）
 →八王子道→新田稻荷神社（呼ばわり山）
 →淵野辺駅



鹿沼公園での説明

- ・9時半矢部駅に一行12名を出迎える。時々晴間がのぞく絶好の日和。
- ・初対面だが、イメージ通りの好奇心充満メンバー。駅頭にてガイドを配布し案内コース、地域の歴史、文化財の内容等を説明していざ出発。道すがら相互に情報交換、調査・普及員のPRも少し加えながら進める。
- ・村富神社では、神社や新田の歴史、獅子頭にはガラスに頭をこすりつけて一緒に鑑賞。
- ・鹿沼公園では、でいらぼっちの足跡を前に休憩、散策。
- ・快調さを取りもどし新田稻荷神社へ、歴史経過や境内の石仏、石碑の説明のあと、呼ばわり山へ。そこから淵野辺駅に戻って12時に無事解散。マップの活用とガイドの事前研修が出来て、私達も良い一日でした。

(記・太田)

○蚕とともに73年 生きつづける職人魂 西部班

相模原上九沢に今もなお養蚕業を営むお宅があります。

広い屋敷は南に日当たりの良い庭が続き北側は屋敷林に囲まれた閑静な佇まいで、母屋の前に建つ飼育棟の蚕室は蚕棚の規模からも最盛期には1500キロもの繭を生産していたことを伺わせます。現在は年間出荷量約300キロ。生まれた時からお蚕さんと一つ屋根の下で暮らし70年以上もお蚕さんとともに生きてきた笹野 晏弘さんです。

明治以降の日本はアメリカ、ヨーロッパの生糸需要の追い風を受け生糸生産が劇的な増加の一途を辿りました。当時の農村は地租改定による増税とデフレ政策で農産物価格が暴落し困窮の極に達していました。そんな中、横浜港が開港し八王子からの絹の道ができると貴重な収入源として養蚕業が盛んになりました。相模原も最盛期の昭和30年（1955）には2500戸余りの養蚕農家で栄え、40万キロもの収繭量がありました。その後世の中の工業化が進み徐々に養蚕農家も減り続け平成15年には相模原で唯一笹野さんのお宅だけになりました。



蚕室で丁寧にお話する笹野さん

（笹野さんの）お話の中で、「昔は養蚕組合もあり研究会を作り品質の向上に努めた・・・そうした先輩や同僚も少なくなり寂しい。」と感慨深いところもありましたが「蚕はわが子のように・・・体の続く限り養蚕を妻の邦子と続けて生きたい。」と70年以上経った今でも養蚕への熱い思いを語ってくれました。

○発見！わが町のかくれた文化遺産

地神塔 文化7年（1810）造立

所在地 東大沼4丁目

風化いちじるしいが、右手に長柄の戟、左手に花器を持つ地天像は、藤沢神礼寺の御影をモデルに作られています。市内最古のものでしょう。高さ52センチの小さな石仏で、誰もが見過してしまう場所にヒソソリと時を刻んでいます。



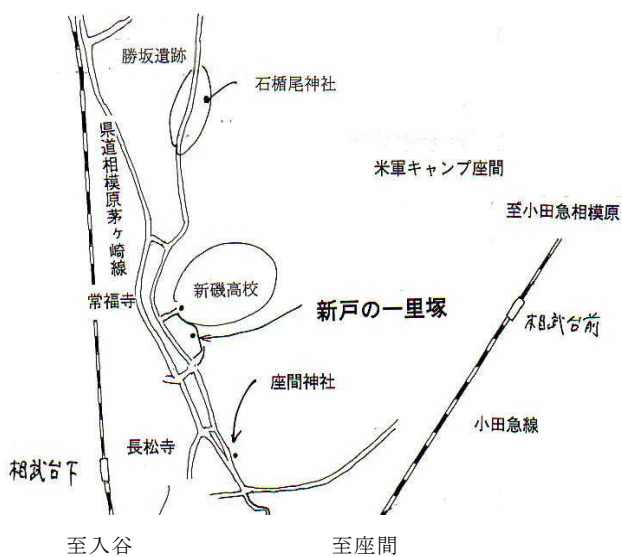
ここは、大沼新田の村はずれ、今でも三叉路になっています。造立年次からみると、この信仰をいち早く受け入れていることが分かります。領主の財政窮乏から、年貢が月割り制に変わった時期で、粗悪な土地条件を抱える大沼新田では、この農業神に土地の安寧、豊作を強く願い託したことでしょう。

＜地神信仰＞ 1700年代後半から、藤沢神礼寺、その他によって農村に布教された信仰。地神を、百姓の神、豊作をもたらす神として信仰し講が組織されました。社日（春分、秋分に最も近い戌の日）には、地神の掛け軸を前に祭祀が営まれ、その後の共同飲食は、作柄や村内諸事の情報交換の場にもなりました。

（東部班 太田）

○新戸の一里塚周辺文化財マップ 南部班

至下溝



* 次号以降も各地区の文化財マップを紹介
します。ご要望があれば、新戸地域をは
じめ各地区の文化財の案内をいたしますの
で、文化財保護室までご連絡ください。

昨年度、南部班では「相模の古道」をテーマに設定し、「木曾の一里塚」から「新戸の一里塚」までの調査・研究を行いました。

この一里塚は徳川家康の遺体を日光に運ぶ際に築かれたと伝えられ、市内には「新戸の一里塚」のほか、麻溝台4丁目付近に一里塚があった所として「二ツ塚」という伝承地があります。

南部班では班員総出で麻溝台の一里塚調査を行い、古老をたずね歩き、また一里塚に植えられた榎や松の古木や名残の盛土を探しました。しかし、残念ながら痕跡の確認には至らず、「幻の一里塚」調査を終了しました。なお、麻溝台4丁目には日本の近代測量の基点「相模野基線北端点」（市指定史跡）があります。



新戸の一里塚

文化財保護室からのお知らせ

勝坂遺跡発祥の地 保存が決まる！

遺跡の範囲確認調査の結果、縄文時代中期の住居跡が確認された勝坂A区約4,000㎡が保存されることになりました。

範囲確認調査には延べ18名の文化財調査・普及員が市民調査員として参加しました。この場所は大正15年に大山柏氏が発掘調査を行い、勝坂遺跡を知らしめた所です。現在、国指定史跡に申請中で、勝坂遺跡の普及をさらに図ってまいります。



保存された勝坂A区の遺跡見学会

文化財調査・普及員 第2期募集はじまる！

現在の登録者の少ない地域を中心に募集した、文化財調査・普及員の第2期募集応募者21名を対象に行う講習会が9月3日から10月8日に開催されます。この講習会では、現在の登録者が講師を行います。人前で話すこの体験が今後、文化財ガイドなどを行う上で、役立つことを期待しています。

文化財調査・普及員による文化財普及事業「仕事唄のつどい」開催！

9月19日（月・祝）午後1時より、文化財調査・普及員を実行委員とする「仕事唄のつどい」を古民家園にて開催します。市内に伝わる「大沼土窯つき唄」や「ぼうち唄」の披露のほか、クルリ棒や縄ない体験、サツマ団子作り・試食を行いますので、ぜひご参加ください。

編集後記 これまでの「さねさし」は文化財調査・普及員のみ配布しておりましたが、今回から活動を広く紹介するため、配布先を拡大しました。文化財調査・普及員についての問合せは下記までお願いします。

発行連絡先 相模原市教育委員会文化財保護室 **電話** 042-769-8371